

令和5年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

《担当講師》

立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授：飯村 史恵 氏
 社会福祉法人みずき福祉会 理事長：阿部 美樹雄 氏
 株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長：浅野 睦 氏

《時間割》

時 間		科 目	講 師 等
10:00	5分	○事務連絡	事務局
10:05	5分	○開講挨拶	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部長 渡部 裕代
10:10 ～	30分	○講義1 利用者調査の意義	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
10:40	10分	休 憩	
10:50 ～	60分	○講義2 障害者福祉制度の変遷と現状	立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 飯村 史恵 氏
11:50	60分	休 憩	
12:50 ～	80分	○講義3 聞き取り方式の対象となる利用者を理解する	社会福祉法人 みずき福祉会 理事長 阿部 美樹雄 氏
14:10	10分	休 憩	
14:20 ～	15分	○オリエンテーション	株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏
14:35 ～	75分	○演習1 ※ 利用者調査の技法を学ぶ	社会福祉法人 みずき福祉会 理事長 阿部 美樹雄 氏
15:50	10分	休 憩	
16:00 ～	55分	○演習2 ※ 利用者調査回答の振り分けを学ぶ ○グループワーク ○質疑応答	
16:55 ～ 17:00	5分	○事務連絡 終了	(事務局)

※1日目の演習1・2では、
 障害者支援施設における重度知的障害と発達障害を併せ持つ利用者の
 聞き取り方式の利用者調査の技法を学びます。

利用者の聞き取り場面として2通りのビデオを視聴し、ワークを通
 して、評価者として望ましい利用者調査の在り方や回答の振り分けに
 ついて学びます。

施設利用者の思いを深く理解している施設長と、経験豊かな評価者
 である講師から、回答の振り分けについて解説があります。

令和5年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

《担当講師》

やまだこどもクリニック 言語聴覚士：高泉 喜昭氏

株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長：浅野 睦氏

《時間割》

時 間		科 目	講 師 等
10:00	5分	○事務連絡	(事務局)
10:05 ～	30分	○講義4 場面観察方式の調査手法	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
10:35	10分	休 憩	
10:45 ～	60分	○講義5 利用者特性に配慮した意向発信(サイン) の見出し方	やまだこどもクリニック 言語聴覚士 高泉 喜昭氏
11:45 ～	40分	○演習3 ※ 線引きワーク	株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦氏
12:25	60分	休 憩	
13:25 ～	45分	○演習4 ※ 個人調査シート作成ワーク	やまだこどもクリニック 言語聴覚士 高泉 喜昭氏
14:10	10分	休 憩	
14:20 ～	75分	○演習5 ※ 合議結果作成ワーク	
15:35	15分	休 憩	
15:50 ～	40分	○発表・講評	
16:30 ～	10分	○質疑応答	
16:40 ～ 16:45	5分	○事務連絡 終了	(事務局)

※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)

※ 2日目の演習3・4・5では、
医療型障害児入所施設(旧重症心身障害児施設)における場面観察方式の調査方式を学びます。

ビデオ視聴により、重症心身障害児の施設での日常生活の中で発せられた利用者のサイン(呼びかけ、声なき呼びかけ、まなざし等)に対する職員の関わりを観察し、グループワークを通じて場面観察方式の記載方法を学びます。利用者のサインはどこにあったのか、重症心身障害児の特性に詳しい講師が解説し、講評やグループワークで作成した「評価機関が選定した場面」と「評価機関が読み取った利用者の気持ちの変化」の記載について評価者が解説します。